

2006 年度

科目名 倫理学概論 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 林 進
授業テーマ 近代ヨーロッパ倫理思想概観		
授業の概要と目標 ヨーロッパ近代を中心に倫理思想を概観する。とくにカントに代表される近代の道德論と、その近代の道德価値に対して批判の刃を向けたニーチェの反道德論を両輪にして、デカルトの心身二元論やヘーゲルの人倫思想を説明し、国家と個人、自由と必然、の問題を考察する。		
評価方法 レポート提出もしくは筆記試験。出席重視		
テキスト プリント配布	著者	出版社
参考書 授業の中で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 倫理学とは何か 2. 古代ギリシアの倫理概観 3. 近代科学の成立——ベーコンとデカルト 4. デカルトの心身二元論 5. カントの道德論（1）——道德法則と善意志 6. カントの道德論（2）——最高善と幸福 7. カントの道德論（3）——定言命法 8. 自由と必然——カントとスピノザとニーチェの説 9. 自由とは何か（1）——バーリンの「～からの自由」と「～への自由」——フロムとサルトル 10. 自由とは何か（2）——自由とリベラリズム 11. 自由とは何か（3）——「自由」という名のニヒリズム 12. ヘーゲルの人倫思想（1）——カントの「道德」からヘーゲルの「人倫」へ 13. ヘーゲルの人倫思想（2）——国家と自由の実現 14. 啓蒙の弁証法——アドルノとホルクハイマー 15. レポート提出もしくは筆記試験		